

## ■養老町公共交通に関する町民アンケート調査結果（抜粋）

### 1. 調査の目的

養老町地域公共交通網形成計画の策定から4年が経過したことから、計画の評価を行うとともに、次期計画（地域公共交通計画）を作成する上での基礎指標となる、町民の外出状況や、今後の町内の公共交通のあり方などの意向を把握するため、町民アンケート調査を実施しました。

### 2. 調査の概要

項目	内容
調査実施日	令和5年10月6日(金)～10月24日(火)
調査対象	15歳以上の町民 3,000人(1人1票)
調査方法	調査票を郵送で送付、郵送またはWeb回答
回収数・回収率	1,378票(うちWeb回答152票)・45.9%

※居住地や年代の設問について無回答の調査票が存在しています。

この票については小学校区や年代ごとの集計には含めず、町合計の集計に含めるものとしています。そのため、各小学校区・各年代の回答数の合計と町合計の回答数は一致しません。

参考図 養老町内小学校区

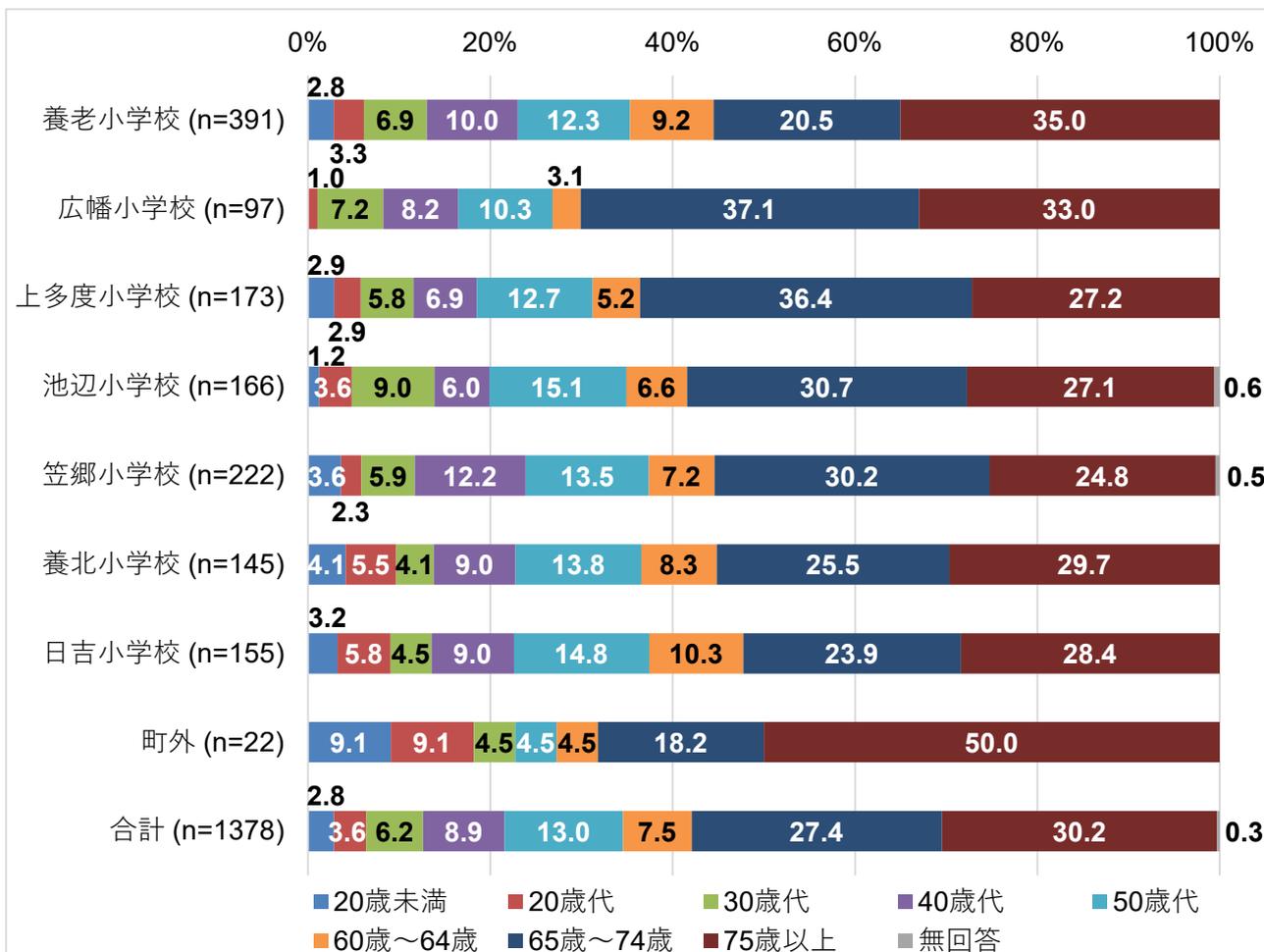


### 3. 集計結果

#### ①年齢

■合計では「75歳以上」が30.2%と最も割合が高く、次いで「65歳～74歳」が27.4%、「50歳代」が13.0%となっています。

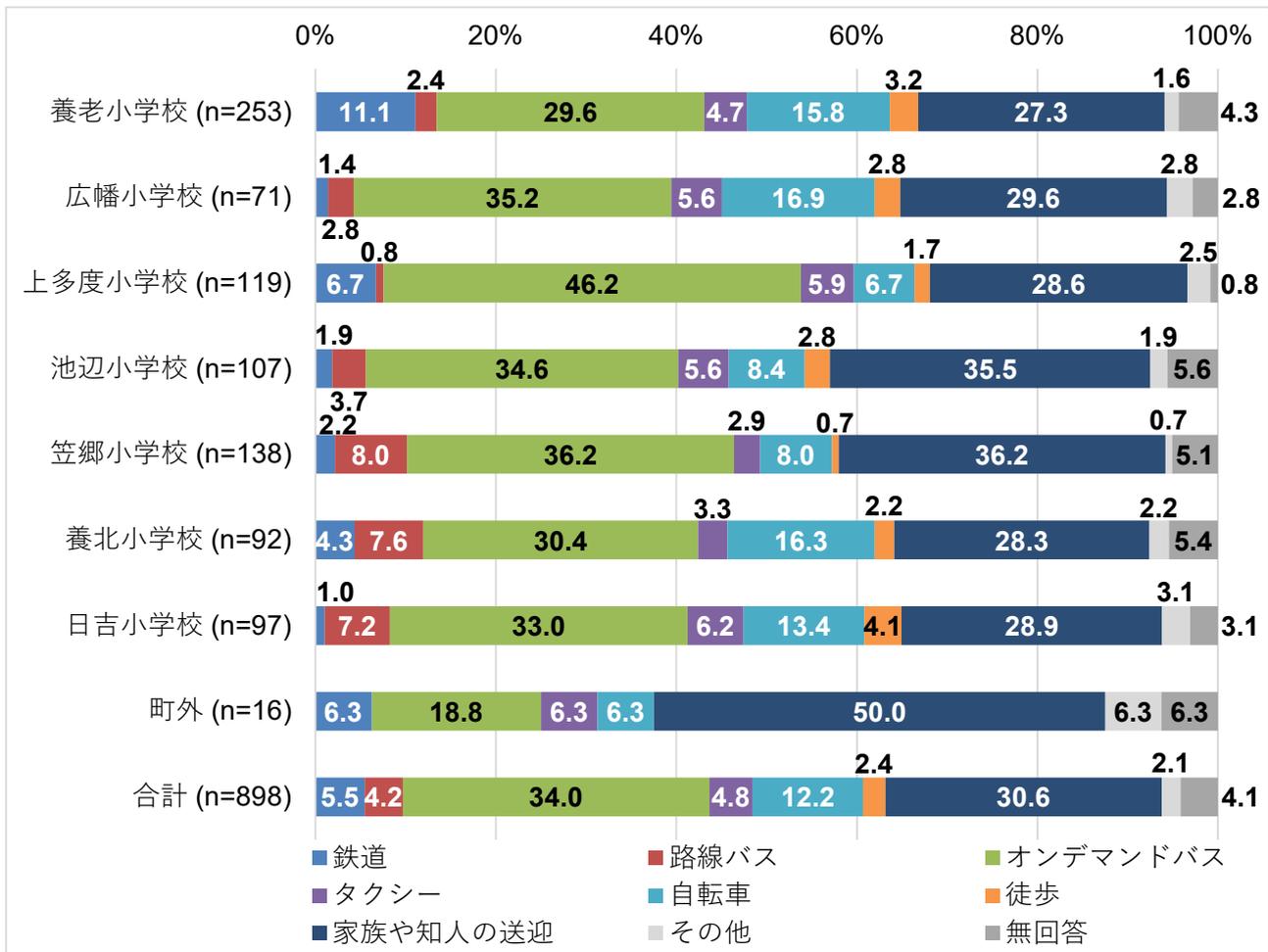
□回答者の65歳以上の割合は、広幡小学校区（70.1%）、町外（68.2%）、上多度小学校区（63.6%）の順となっています。



②自動車の運転を止めた後に利用している又は利用したい主な交通手段

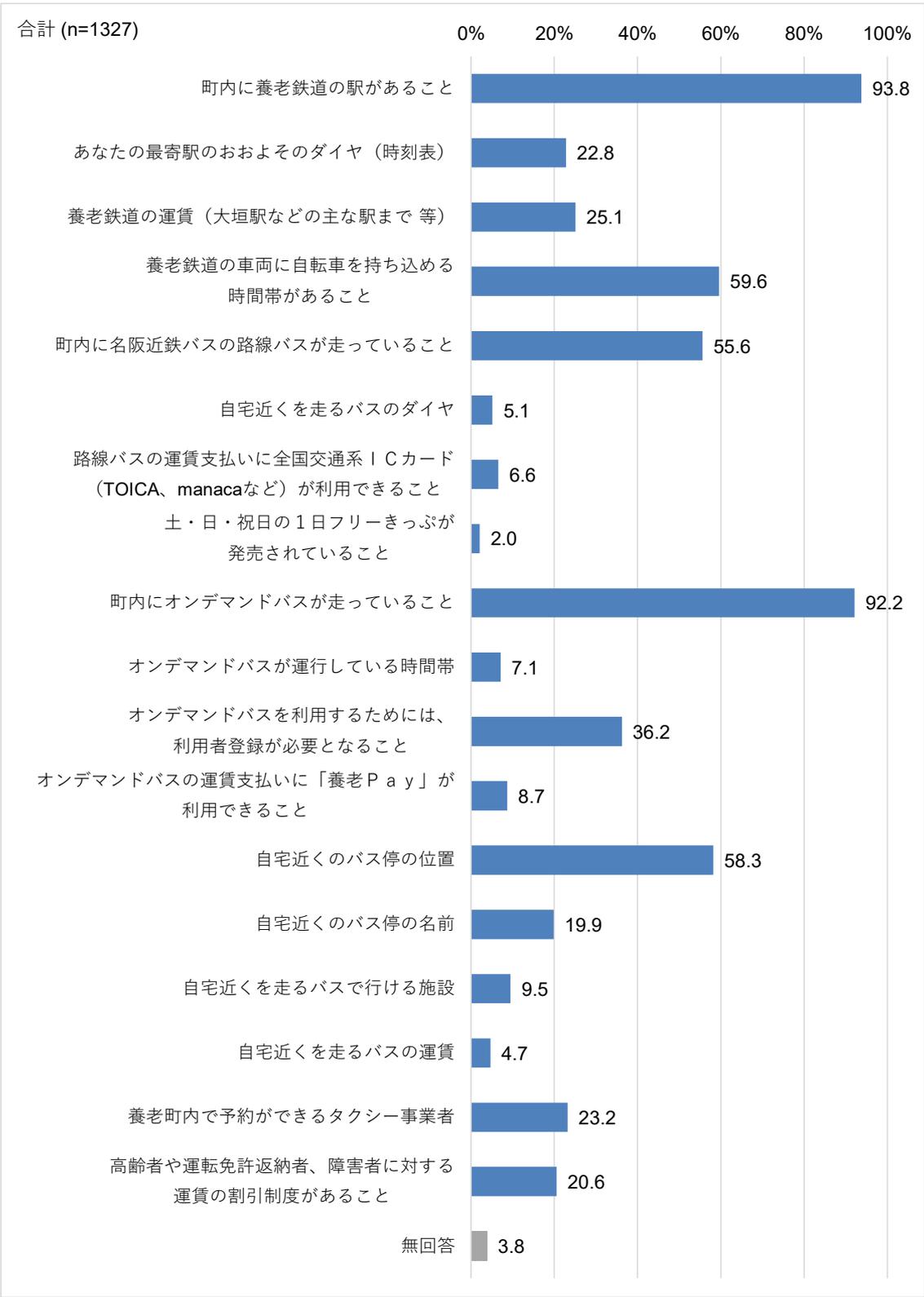
※60歳以上の方のみ

■合計では「オンデマンドバス」が34.0%で最も割合が高く、次いで「家族や知人の送迎」が30.6%、「自転車」が12.2%となっています。  
 □養老小学校区では「鉄道」、笠郷・養北・日吉小学校区では「路線バス」、上多度小学校区では「オンデマンドバス」の割合が、他の小学校区と比較して高くなっています。



③養老町の公共交通について知っていること ※複数回答

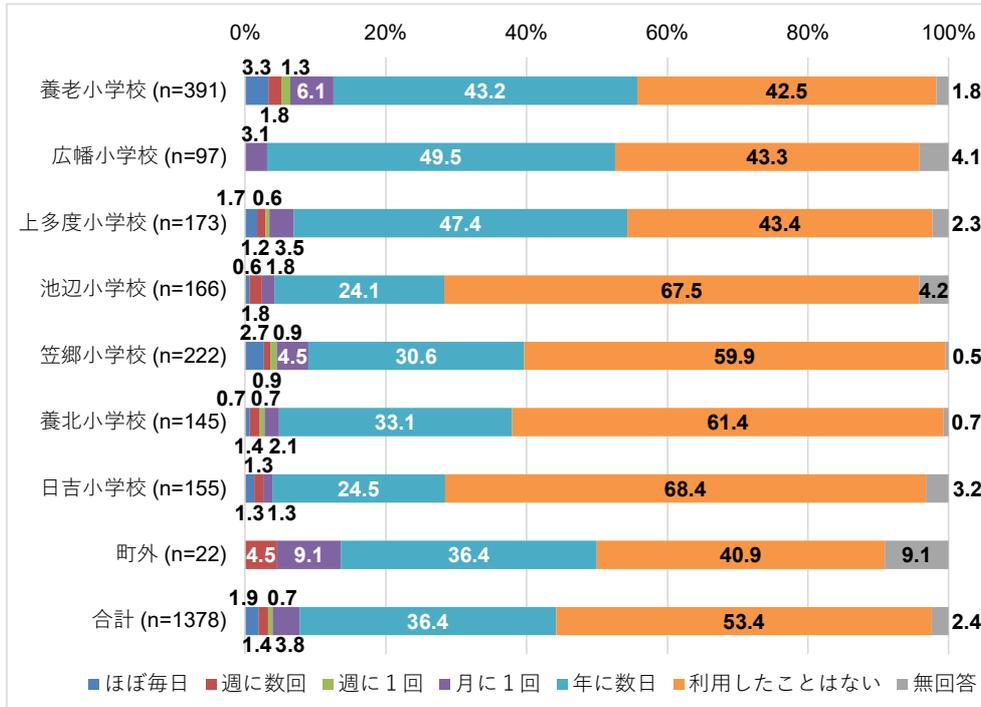
■合計では「町内に養老鉄道の駅があること」が93.8%で最も認知度が高く、次いで「町内にオンデマンドバスが走っていること」が92.2%、「養老鉄道の車両に自転車を持ち込める時間帯があること」が59.6%となっています。



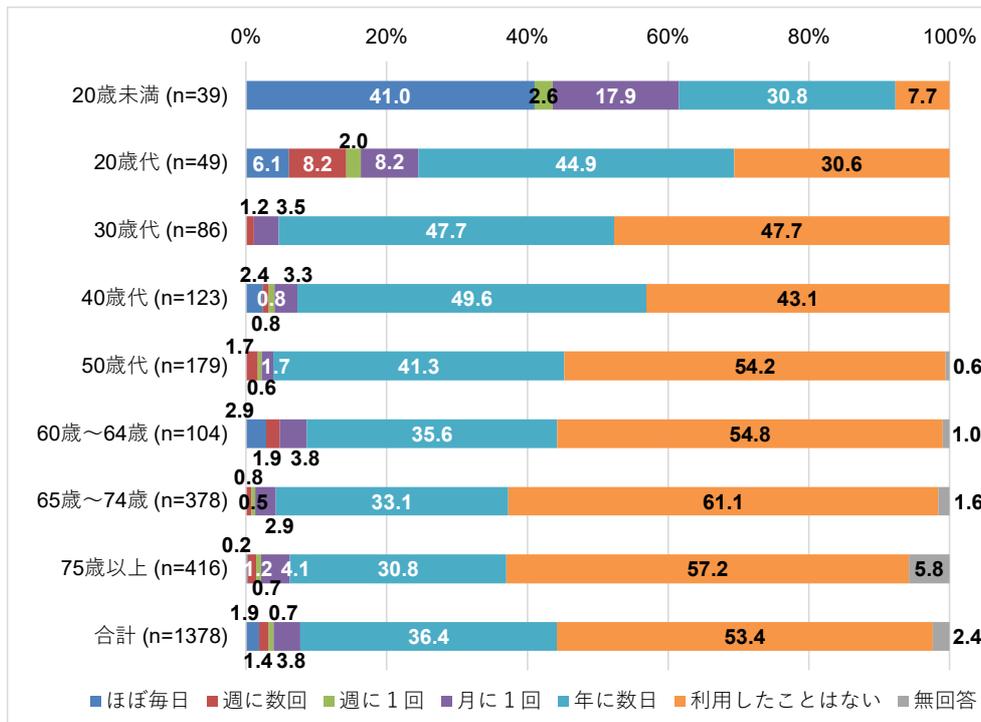
#### ④養老鉄道の利用頻度

- 合計では「年に数日」以上利用した人の割合は 44.2% となった一方、「利用したことはない」の割合は 53.4% となっています。
- 養老鉄道の駅から距離のある池辺・日吉小学校区では、「年に数日」以上利用している人の割合が、他の小学校区と比較して低くなっています。
- 年代別では、若い年代ほど「年に数日」以上利用している人の割合が多い傾向にあります。

▼小学校区別

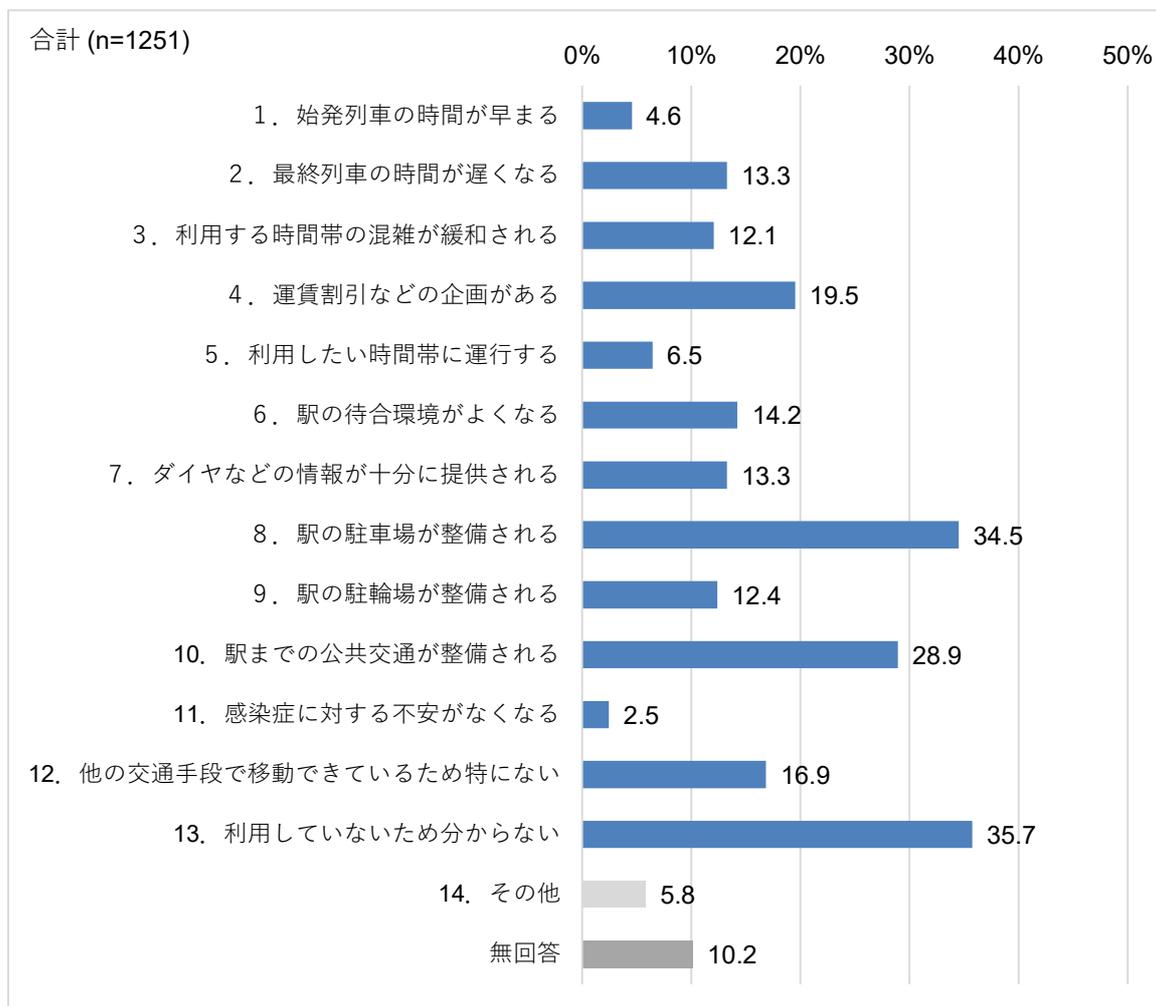


▼年代別



⑤養老鉄道をより多く利用する、または利用するようになるために必要なこと ※複数回答

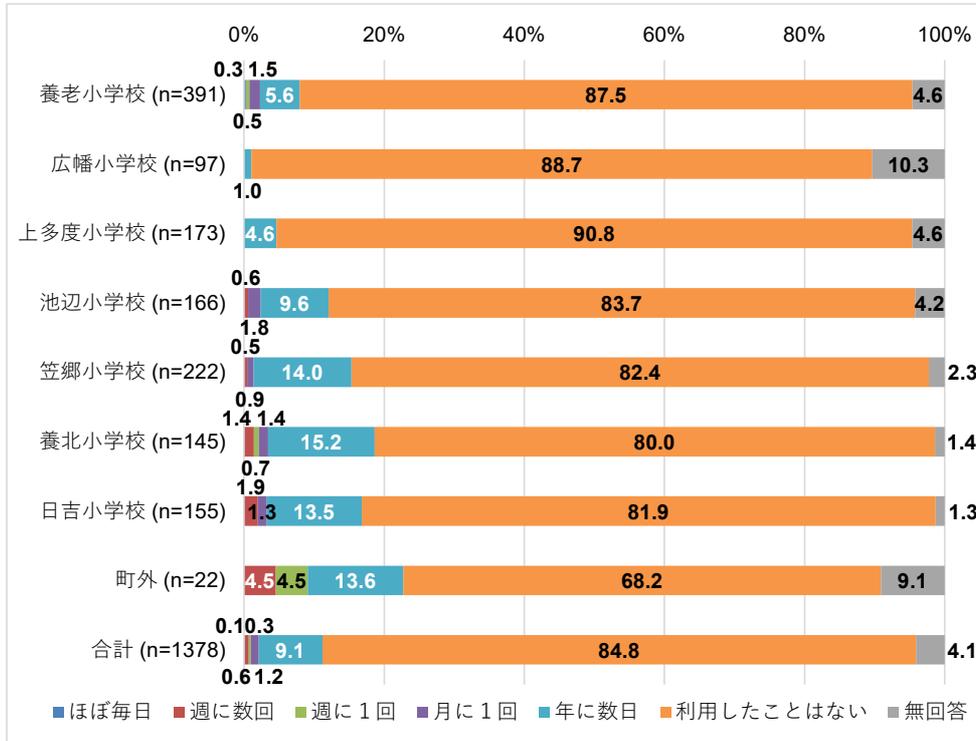
■合計では「利用していないため分からない」が35.7%で最も割合が高くなっていますが、この項目を除いた場合、「駅の駐車場が整備される」が34.5%で最も割合が高く、次いで「駅までの公共交通が整備される」が28.9%、「割引運賃などの企画がある」が19.5%の順となっています。



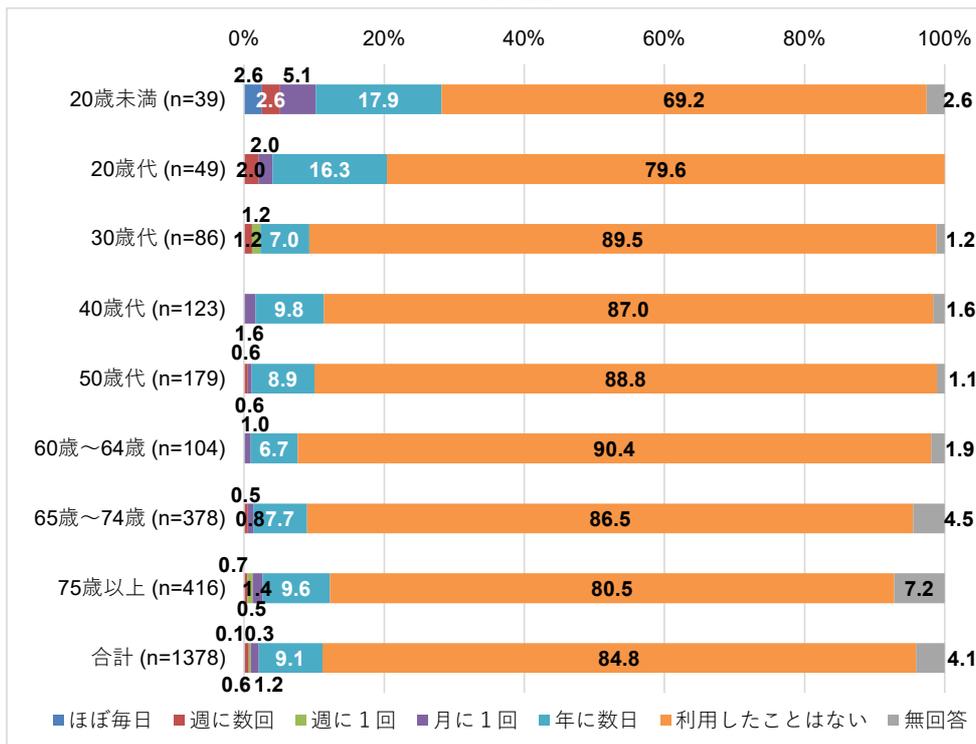
⑥名阪近鉄バスの利用頻度

- 合計では「年に数日」以上利用した人の割合は 11.3% となった一方、「利用したことはない」の割合は 84.8% となっています。
- 池辺・笠郷・養北・日吉小学校区では「年に数日」以上利用する人の割合が、他の小学校区と比較して高くなっています。
- 年代別では、20歳未満・20歳代で「年に数日」以上利用する人の割合が高くなっています。

▼小学校区別

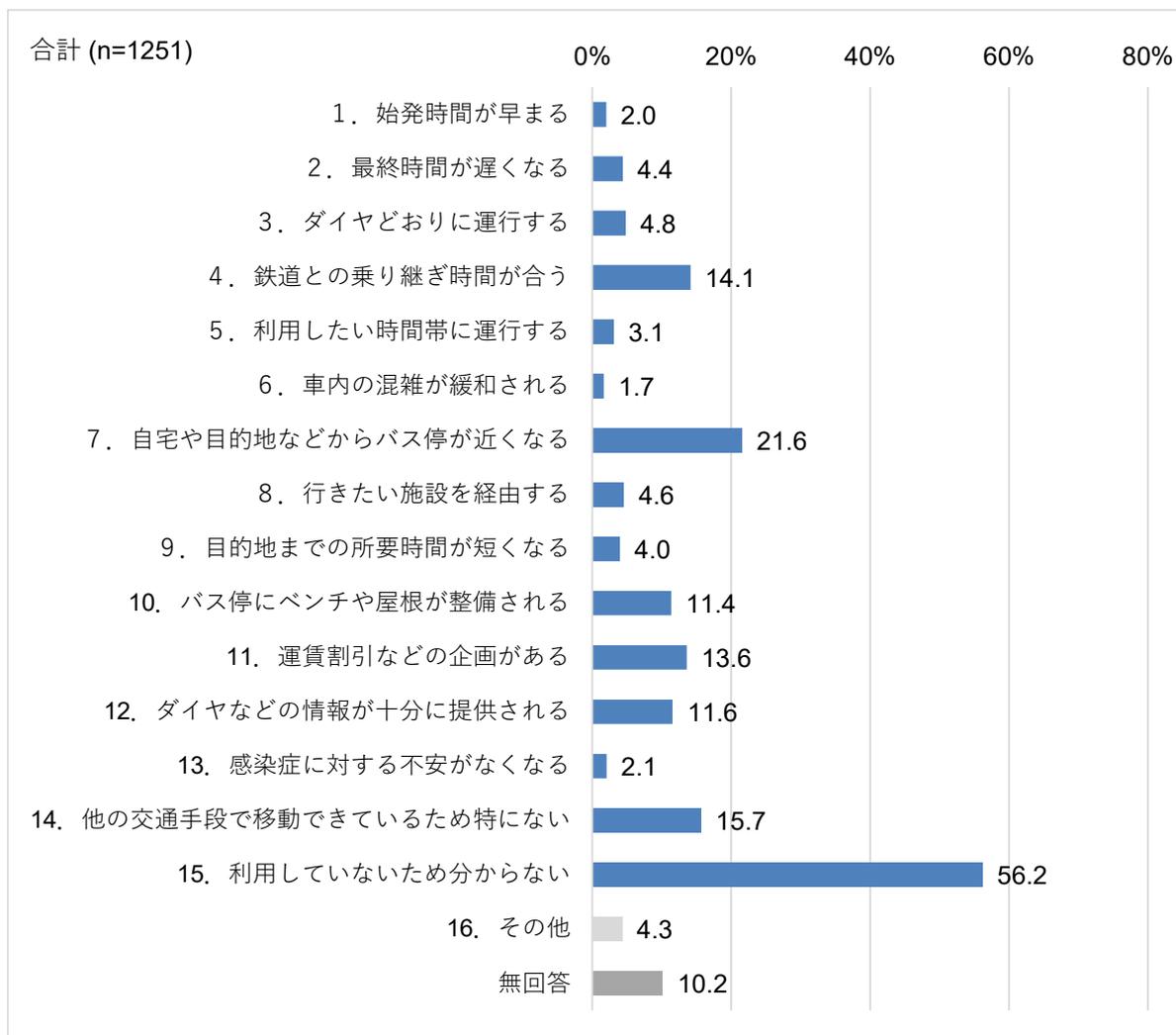


▼年代別



⑦名阪近鉄バスをより多く利用する、または利用するようになるために必要なこと ※複数回答

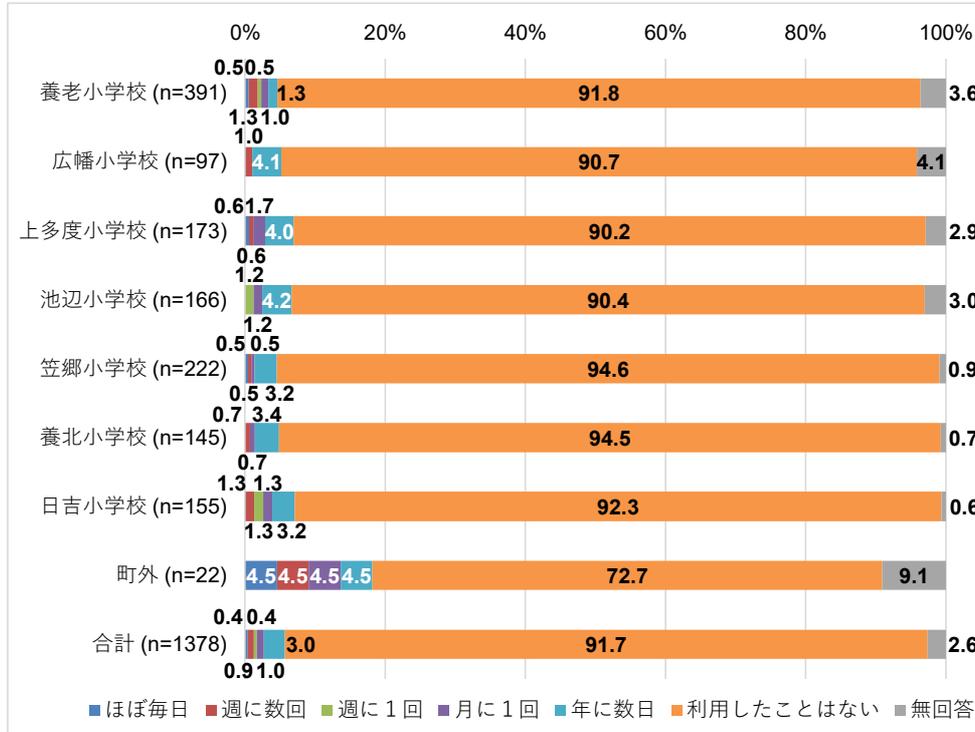
■合計では「利用していないため分からない」が56.2%で最も割合が高くなっていますが、この項目を除いた場合、「自宅や目的地などからバス停が近くなる」が21.6%で最も割合が高く、次いで「鉄道との乗り継ぎ時間が合う」が14.1%、「運賃割引などの企画がある」が13.6%の順となっています。（「他の移動手段で移動できているため特にない」の15.7%を除いています。）



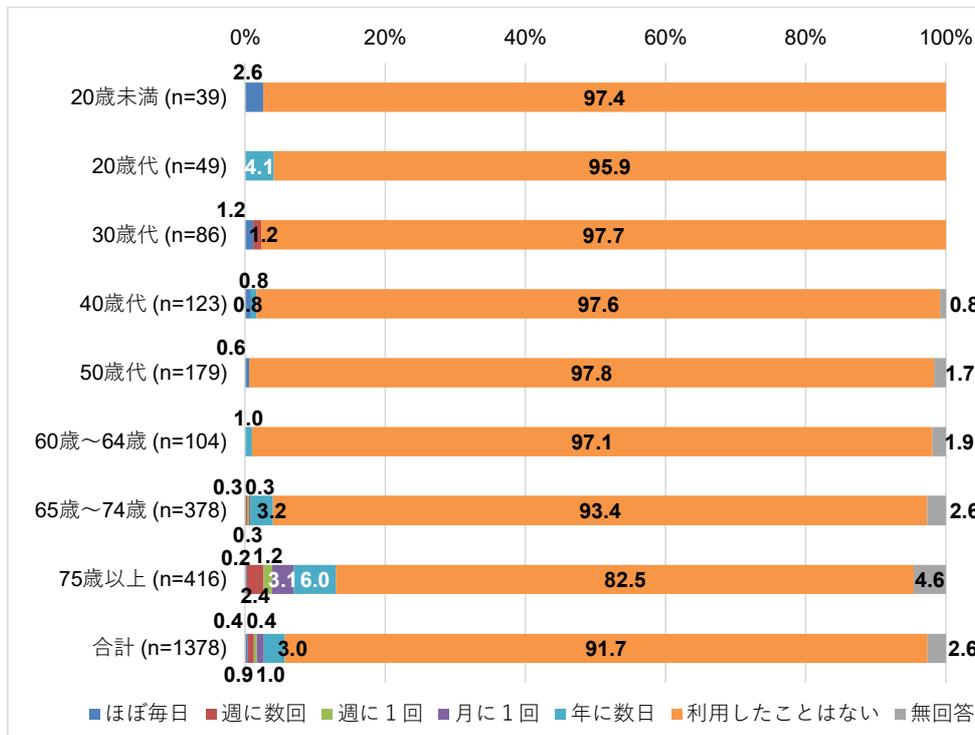
### ⑧オンデマンドバスの利用頻度

- 合計では「年に数日」以上利用した人の割合は2.7%となった一方、「利用したことはない」の割合は91.7%となっています。
- 各小学校区において「年に数日」以上利用する人は、概ね同様の割合となっています。
- 年代別では、75歳以上で「年に数日」以上利用する人の割合が高くなっています。

#### ▼小学校区別

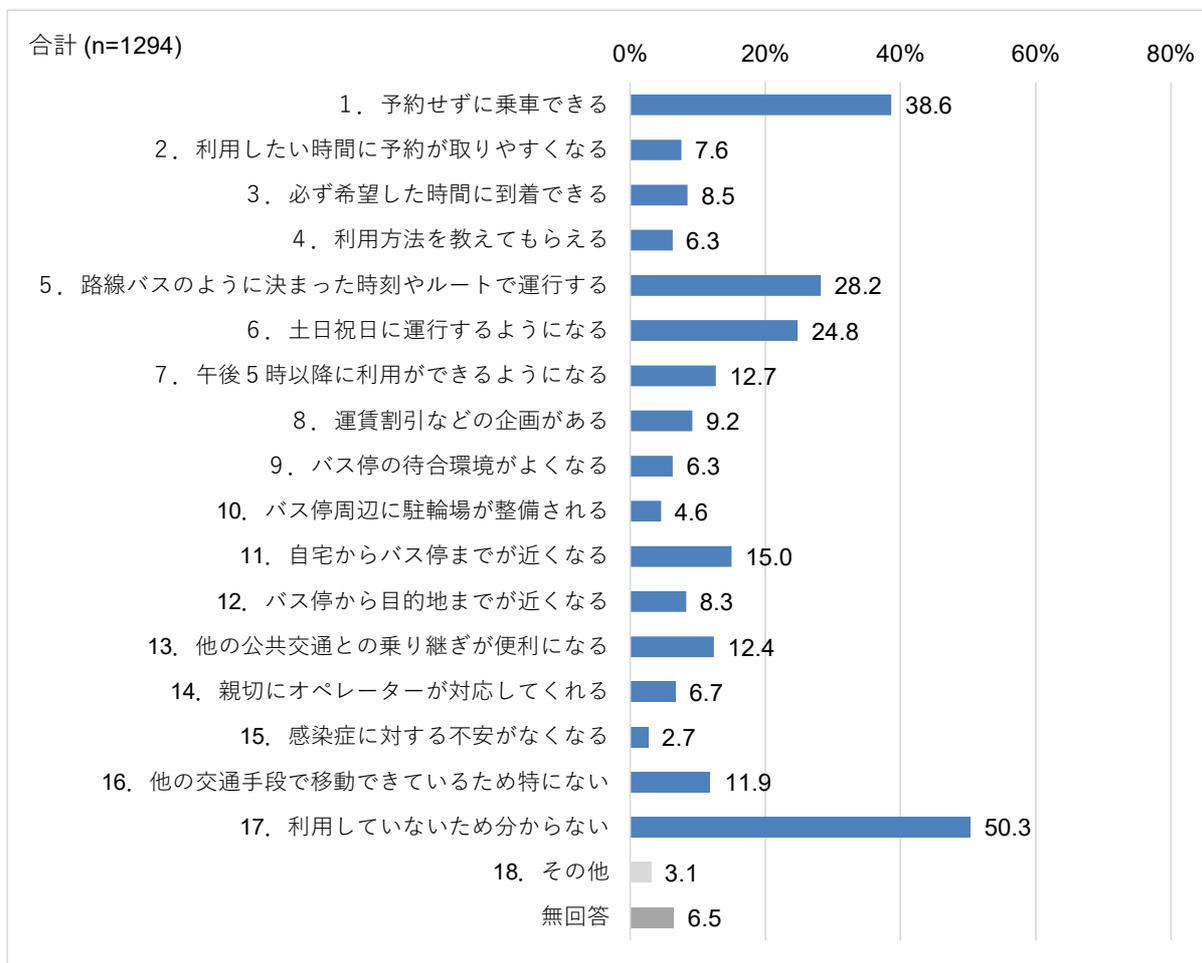


#### ▼年代別



⑨オンデマンドバスをより多く利用する、または利用するようになるために必要なこと ※複数回答

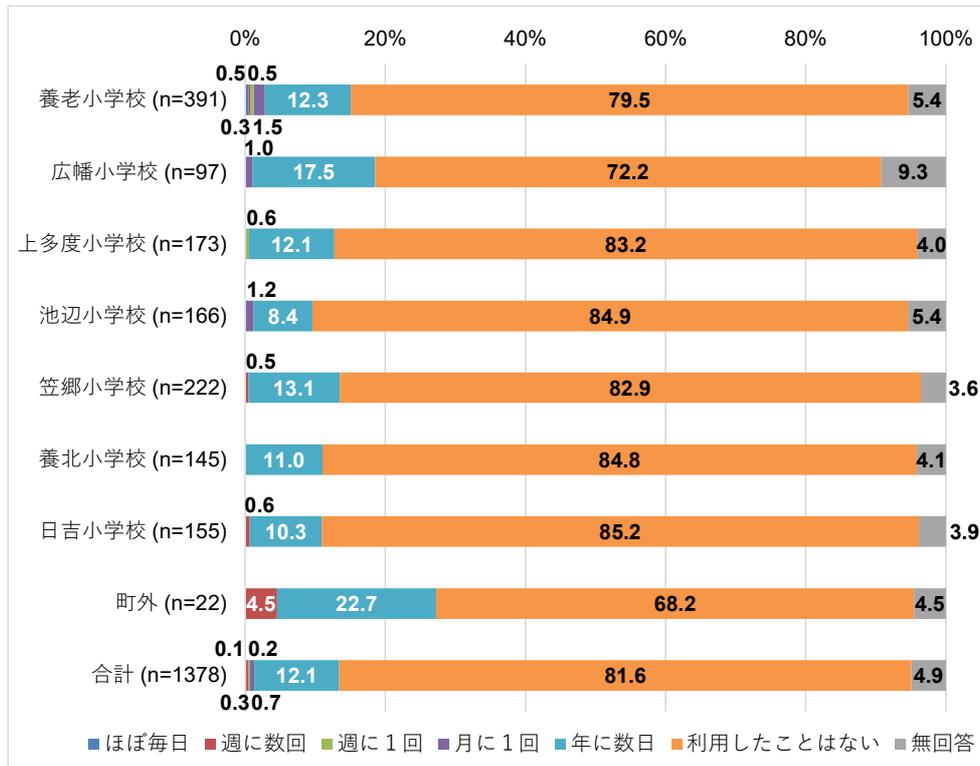
■合計では「利用していないため分からない」が50.3%で最も割合が高くなっていますが、この項目を除いた場合、「予約せずに乗車できる」が38.6%で最も割合が高く、次いで「路線バスのように決まった時刻やルートで運行する」が28.2%、「土日祝日に運行するようになる」が24.8%の順となっています。



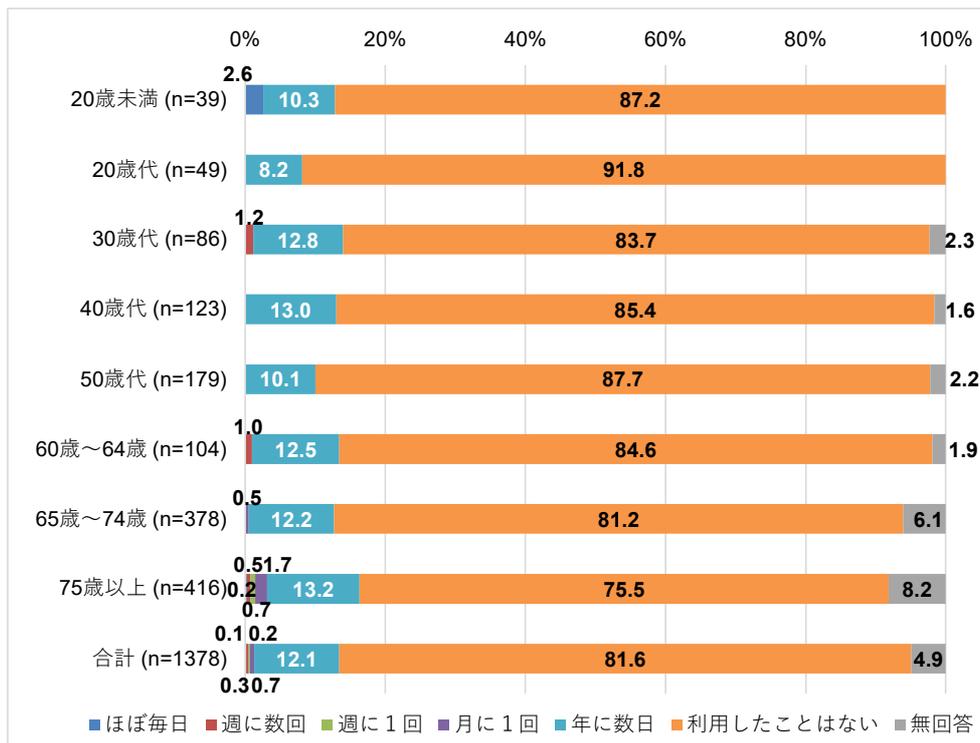
### ⑩タクシーの利用頻度

- 合計では「年に数日」以上利用した人の割合は 13.4% となった一方、「利用したことはない」の割合は 81.6% となっています。
- 他の小学校区と比較して、広幡小学校区において「年に数日」以上利用する人の割合が高くなっています。
- 年代別では、75 歳以上で「月に 1 回」以上利用する人の割合が高くなっています。

#### ▼小学校区別

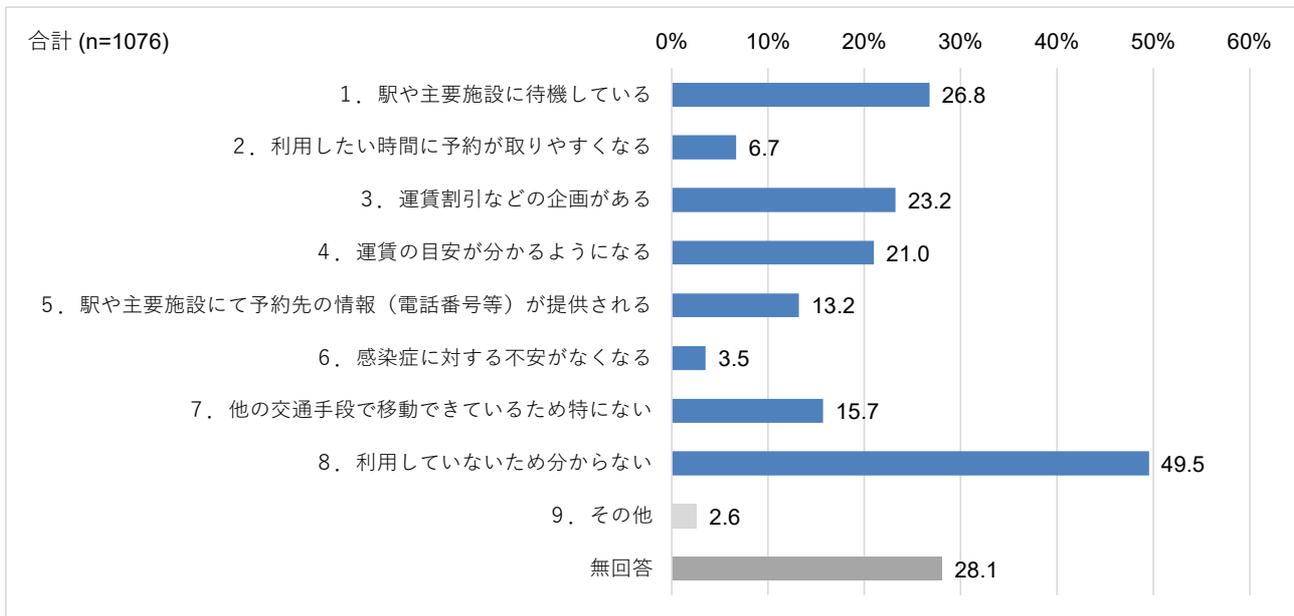


#### ▼年代別



⑪タクシーをより多く利用する、または利用するようになるために必要なこと ※複数回答

■合計では「利用していないため分からない」が49.5%で最も割合が高くなっていますが、この項目を除いた場合、「駅や主要施設に待機している」が26.8%で最も割合が高く、次いで「運賃割引などの企画がある」が23.2%、「運賃の目安が分かるようになる」が21.0%の順となっています。



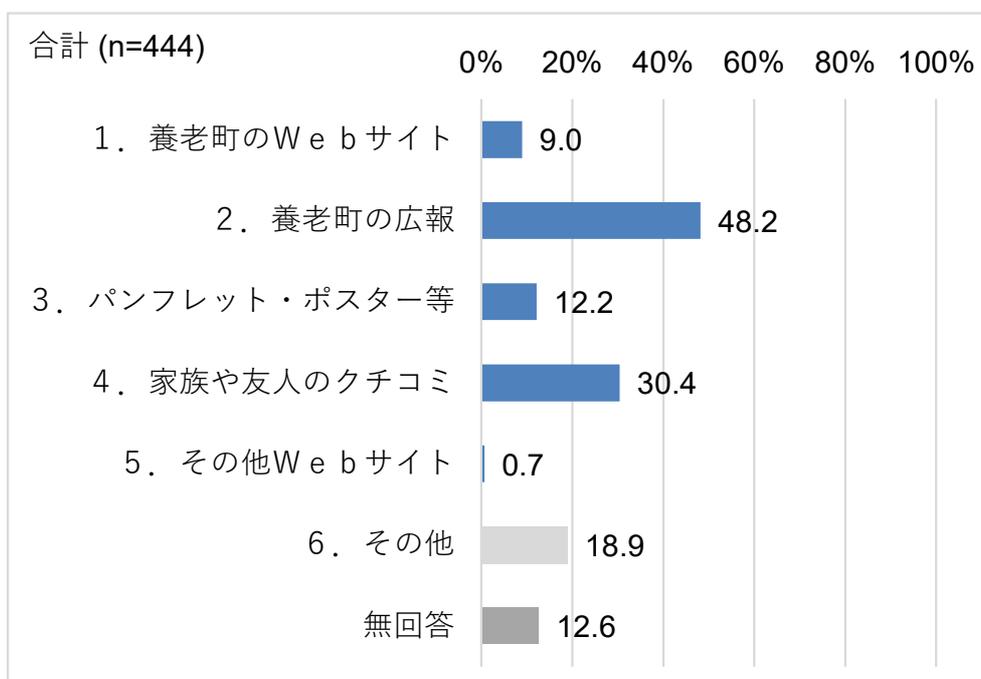
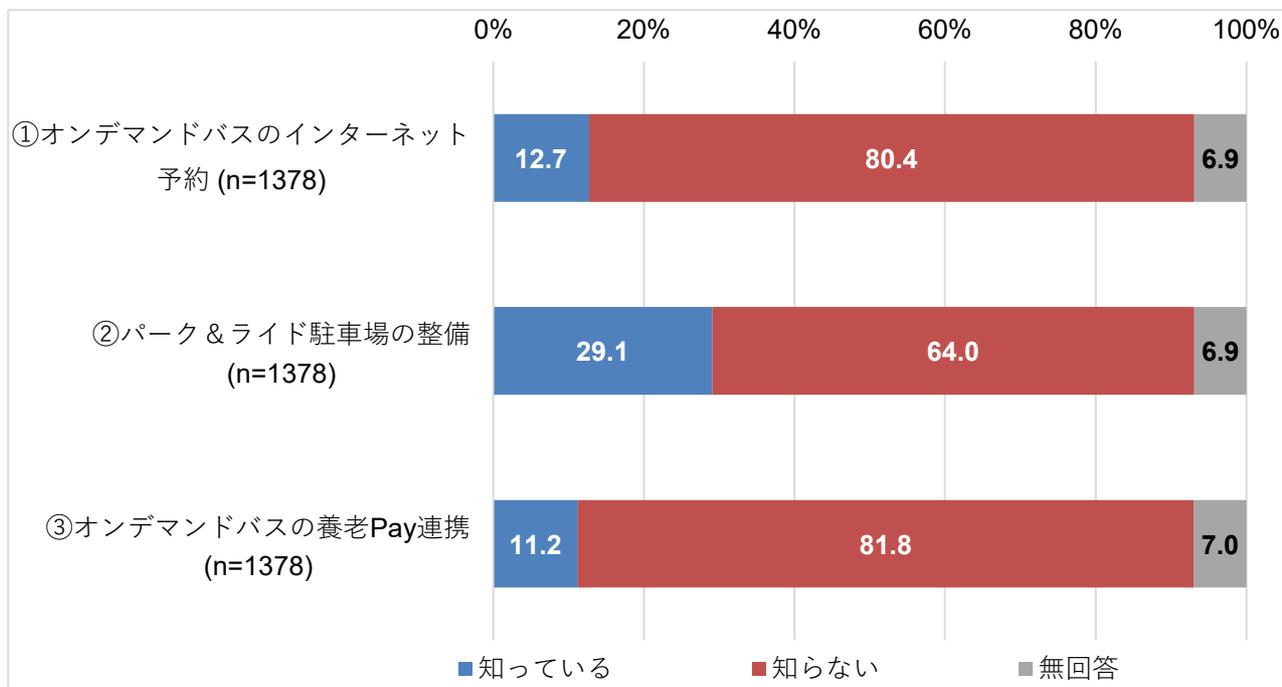
⑫養老町が実施している公共交通に関連した事業の認知度と認知方法 ※認知方法は複数回答

(認知度)

■今回調査した3事業のうちでは、②パーク&ライド駐車場の整備の認知度が29.1%で最も高くなっています。

(認知方法)

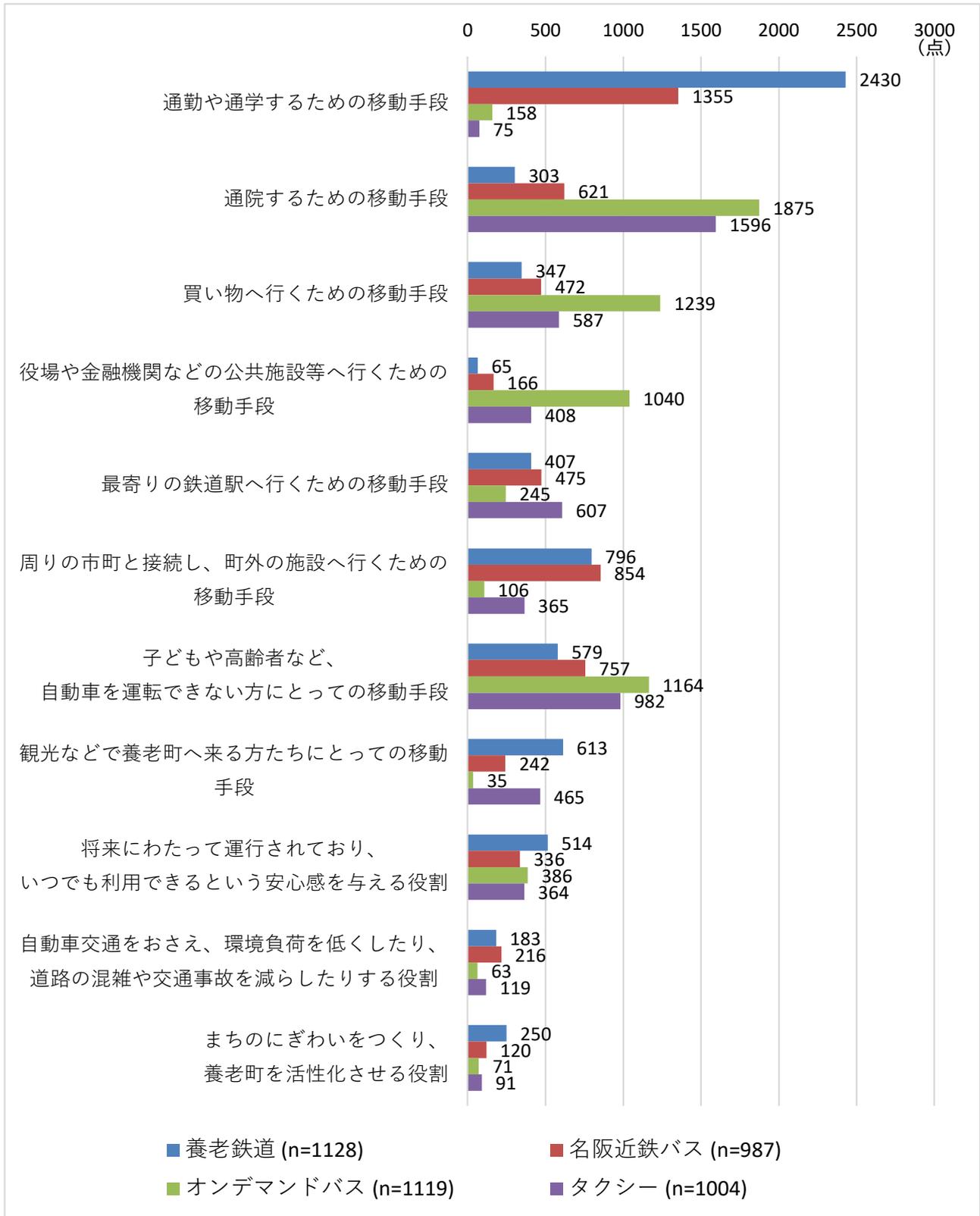
■合計では「養老町の広報」が48.2%で最も割合が高く、次いで「家族や友人のクチコミ」が30.4%、「パンフレット・ポスター等」が12.2%となっています。



⑬ 養老町内の公共交通の役割の優先度について

※優先度の高い順に3つ：上位1位を3点、上位2位を2点、上位3位を1点として算出した評価点

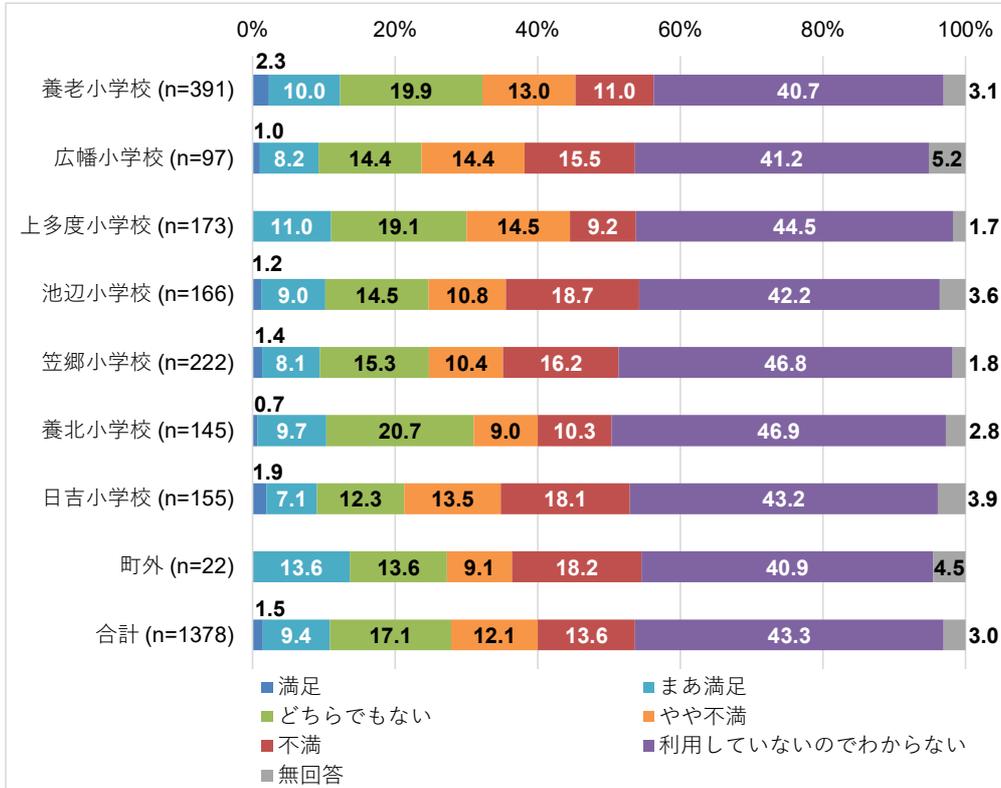
■ 養老鉄道や名阪近鉄バスでは「通勤や通学するための移動手段」が最も得点が高く、オンデマンドバスやタクシーでは「通院するための移動手段」が最も得点が高くなっています。



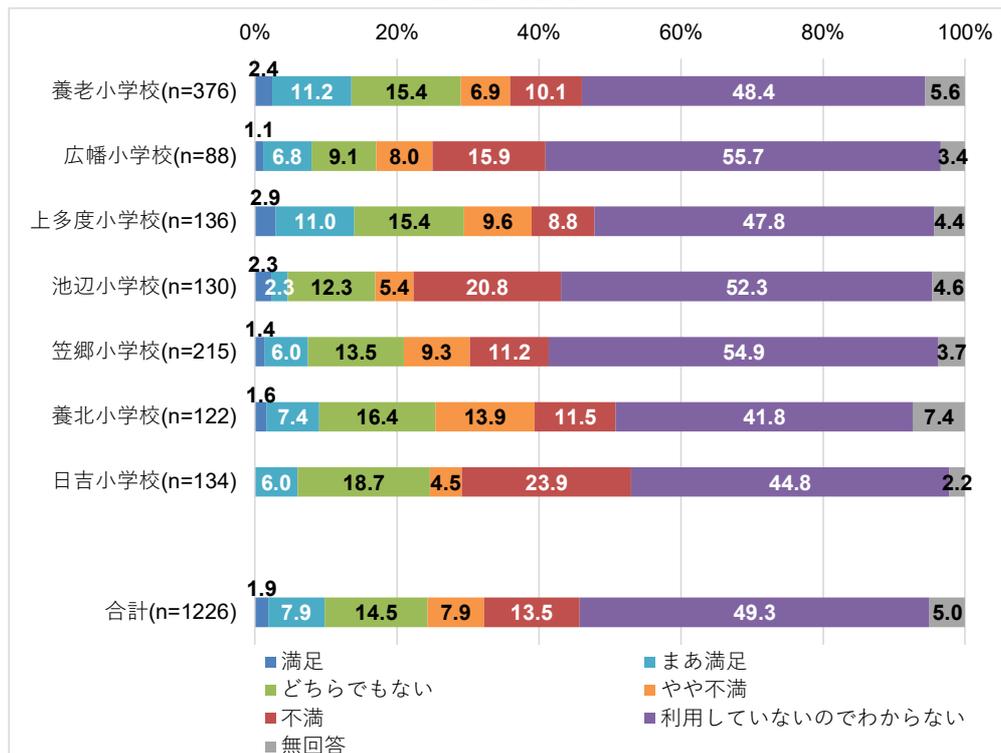
⑭公共交通の満足度について

- 合計では、満足度（「満足」＋「まあ満足」）が10.9%、不満割合（「不満」＋「やや不満」）が25.7%となっています。
- 前回調査と比較すると、満足度が1.1%増加しましたが、不満割合についても4.3%増加しています。

▼今回調査



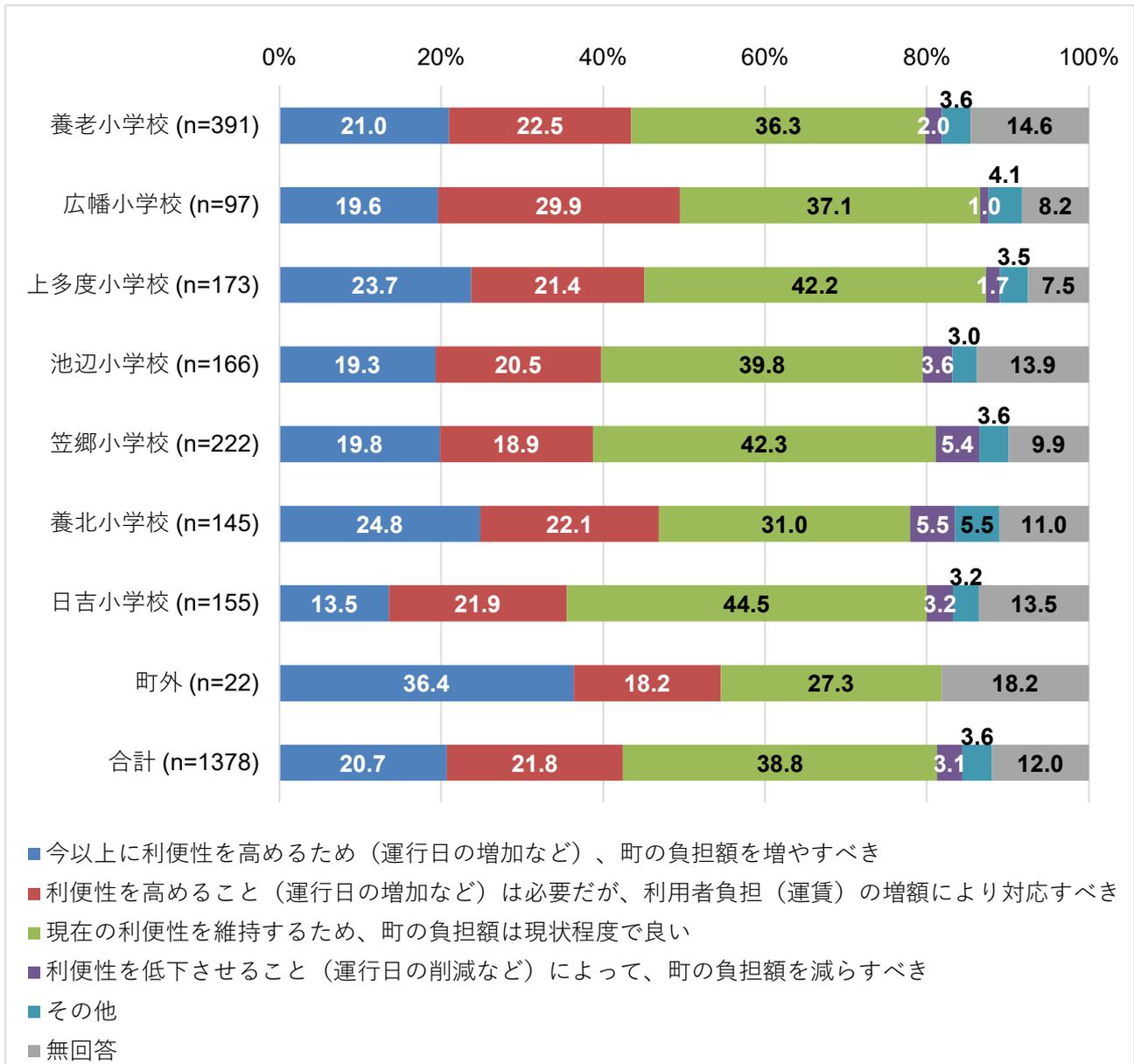
▼（参考）前回調査



⑮今後、オンデマンドバスを運行するための費用負担に対する考え

■合計では「現在の利便性を維持するため、町の負担額は現状程度でよい」が38.8%で最も割合が高く、次いで「利便性を高めること（運行日の増加など）は必要だが、利用者負担（運賃）の増額により対応すべき」が21.8%、「今以上に利便性を高めるため（運行日の増加など）、町の負担額を増やすべき」が20.7%となっています。

■利便性を高める意見（青色・赤色）の合計が42.5%に対して、現状維持の意見（緑色）は38.8%となっています。



### ⑩公共交通に対する考えやアイデア（自由意見）

■自由意見では「イベント・PR・町の魅力づくり・企業との連携」に関する意見が最も多く、次いで「その他の交通手段」、「運行方式」の順となっています。

